

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

### \*すばる主焦点カメラ用補正レンズガラス材5枚を収蔵

2014年11月5日、国立天文台「すばる」資料室にあった主焦点カメラ用補正レンズのガラス材5点を収蔵した。大型光学赤外線望遠鏡「すばる」は主焦点に広角カメラを持っていることが他の8mクラスの望遠鏡にない大きな有利な特徴である。

写真1はすばる望遠鏡、写真2はすばる主焦点カメラである。



写真1 すばる



写真2 すばる主焦点カメラ

今回、収蔵した主焦点補正レンズ群のレンズ硝材は1999年6月に製作会社であったキャノンから国立天文台に送られてきたものであった。1999年6月には「すばる」はすでにファーストライトを迎えていた。これらの硝材はキャノンで主焦点補正レンズが完成し、余った硝材を国立天文台に収めたというものと思われる。このあたりの事情は、筆者は「すばる」建設のため、ハワイに滞在中であったので詳細には知らない。そして多くの建設に携わった方々はすでに定年を迎え、国立天文台を去っている。

これらが国立天文台博物館を目指すグループの手に渡ることになって、この世から消えないで済むことを喜ぶたい。

図1が「すばる」の主焦点補正レンズの構成である。このうちの色付けした3枚(②、④、⑤)は国立天文台展示室に展示されている。展示されている①は磨かれたものだが、④、⑤は形状のみで研磨されていないものである。

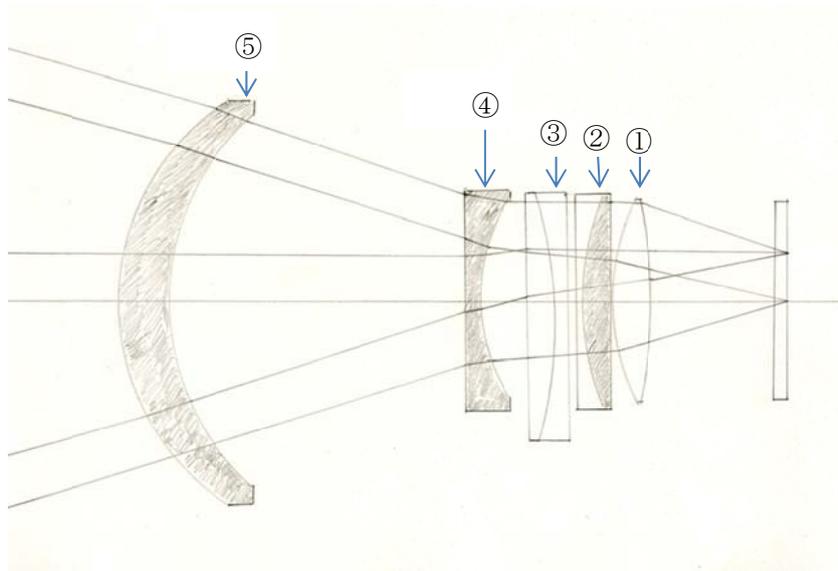


図1 「すばる」主焦点補正レンズの構成

今回発見された主焦点補正レンズのガラス材は、形状が整ったものは②のガラス材、他は③を構成している2枚の材料、④の2枚の材料の5点と思われる。

今回収蔵した「すばる」主焦点カメラ補正レンズ硝材のリストである。

- 1) G2002 ID-54026、Φ316x70、J2A6427、BS L7y、S.1ケ 写真3
- 2) G2003 ID-55887、Φ358.0x31.0、J7A7Y16、PBM5、3501.S.1ケ 写真4
- 3) G2004 ID-55059、Φ358x36、J0A7719、BSM51y、S.1ケ、3501 写真5
- 4) G2005 ID-54251、Φ274x44、J2D6112、PBM2y、S.1ケ、3504 写真6
- 5) G2007 ID-55956、Φ270x53、ROIM98X00D1、S-FPL51 写真7

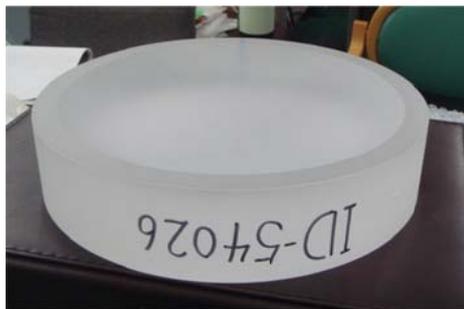


写真3 G2002 ID-54026



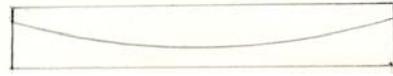
写真4 G2003 ID-55887



この硝材の一部



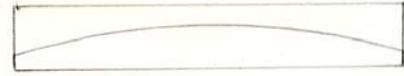
写真5 G2004 ID-55059



この硝材の一部



写真6 G2005 ID-54251



この硝材の一部

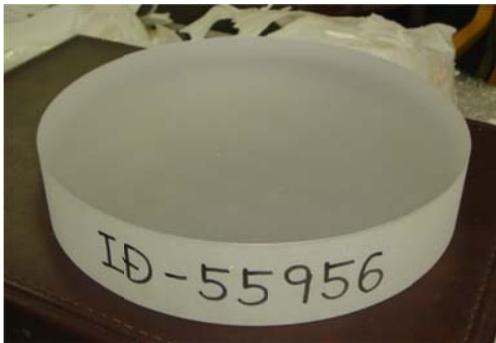
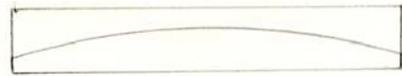


写真7 G2007 ID-55956



この硝材の一部

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)